

有志舎の新刊です。2018年1月下旬刊行

# 復興に抗する

—地域開発の経験と東日本大震災後の日本—

中田英樹・高村竜平 編

四六判・ハードカバー・350 ページ 本体価格 2,600 円

ISBN978-4-908672-18-7

## 私たちは、どのように「開発」や「復興」を生きるのか？

「復興」の名のもとに、戦後日本のなかで繰り返しあらわれる開発主義と、それでもその場所で今日も明日も生き続けようとする人びとの姿を描き出す。

### 〈目次〉

- 序章 地域固有の生活史から描く開発・被災・復興（高村竜平・猪瀬浩平）
- 第一章 ここはこのやり方しかない—陸前高田市「広田湾問題」をめぐる人びとの記憶—（友澤悠季）
- 第二章 原発推進か、反対かではない選択—高知県窪川におけるほ場整備事業から考える—（猪瀬浩平）
- 第三章 福島復興に従事する地元青年にとっての故郷再生（中田英樹）
- 第四章 「風評被害」の加害者たち（原山浩介）
- 第五章 被災地ならざる被災地—秋田県大館市・小坂町の3・11—（高村竜平）
- 第六章 中心のなかの辺境—埼玉県越谷市の3・11—（猪瀬浩平）
- 終章 「復興に抗する」経験を生きる（中田英樹）

### 〈編者紹介〉

中田英樹（なかた ひでき）：社会理論・動態研究所所員、農業経済学・農村社会学専攻

高村竜平（たかむら りょうへい）：秋田大学教育文化学部准教授、社会人類学専攻

～版元から～ 2011年3月11日、東日本大震災で大切なものの多くが消え去り、復興がはじまりました。しかし、その道はひとつではないはず。無数の異なる被害に対応する人びとの営みは、復興という名の開発の波に乗るかにみえて実は抗していたり、異なるかたちの復興を目指していたりします。また「被災地」とされる地域が、震災のみによって語られてはならないし、「被災地」とされない地域のことを、震災と切り離して語ることもできません。本書では、震災前からの戦後開発の歴史的経験と、それを背負った人びとの生活という視点から、復興とは何かを問い、その先の未来を考えてみたいと思います。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	<b>復興に抗する</b> —地域開発の経験と東日本大震災後の日本— 中田英樹・高村竜平 編 四六判・ハードカバー、350 ページ 本体価格 2,600 円	現代社会 日本史（現代）
	ご担当	ISBN978-4-908672-18-7 C1021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊	

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230